

第62回 福岡県ろうあ者体育大会 案内・申込書

主催：社会福祉法人福岡県聴覚障害者協会

主管：福岡聴覚障害者団体連合会

第62回福岡県ろうあ者体育大会開催要綱

1. 目 的

本大会は、福岡県内に居住する聴覚障害者に対し、スポーツの精神を通じ相互親善及び体力向上を図ることを目的とする。

2. 名 称

第62回福岡県ろうあ者体育大会

- ① 第44回ソフトボール競技
- ② 第44回ゲートボール競技
- ③ 第44回ボウリング競技
- ④ 第12回ソフトバレーボール競技
- ⑤ グラウンド・ゴルフ（オープン競技）

3. 主 催

社会福祉法人福岡県聴覚障害者協会

4. 主 管

福岡聴覚障害者団体連合会

5. 後 援

福岡県・春日市・公益財団法人福岡県身体障害者福祉協会・一般社団法人福岡県障害者スポーツ協会

6. 協 力

福岡県手話の会連合会・福岡県手話通訳問題研究会・福岡県手話通訳士会

7. 期日及び会場

期 日	時 間	内 容	会 場
10月5日(日)	10:00~11:00	体育委員打ち合わせ	クローバープラザ 508研修室 (春日市)
	11:00~12:00	実行委員打ち合わせ	
	13:00~15:00	監督主将会議	
10月26日(日)	9:00~9:30	開 会 式	各 会 場
	9:30~16:00	ソフトボール競技	上月隈中央公園 ソフトボール場 (福岡市)
	9:30~16:00	ゲートボール競技	クローバープラザ (春日市)
	9:30~16:00	ボウリング競技	フラワーボール (福岡市)

	9 : 30～16 : 00	ソフトバレーボール競技	クローバープラザ 体育館 (春日市)
	9 : 30～16 : 00	グラウンド・ゴルフ競技	クローバープラザ グラウンド (春日市)
		閉 会 式	各 会 場

8. 実施内容

- (1) 本大会は、ソフトボール、ゲートボール、ボウリング、ソフトバレーボール、グラウンド・ゴルフの競技を行う。
- (2) 本大会は、毎年10月第4日曜 各競技会場に於いて行う。
(なお、会場の都合により変更もある)
- (3) 競技方法は、各競技の特質によって個人及び団体対抗で行う。
- (4) 参加選手資格
 - ① 福岡県に居住している聴覚障害者で、福岡県ろうあ者スポーツ委員会会員であること。
聞こえる監督、コーチ、マネージャーの参加も認めるが、福岡県ろうあ者スポーツ委員会賛助会員であること。
 - ② 団体チームについては、ろう協会の団体においてチームを編成することを原則とする。(地区協会団体にこだわらない)
 - ③ 参加料を納入した者に限る。
 - ④ 18才以上であること。但し、高校生は不可。

(5) 表 彰

表彰は下記の通りとする

ソフトボール競技	優勝チーム 準優勝チーム 第3位チーム	賞状、持ち回り優勝杯 賞状、持ち回り準優勝杯 賞状
	個人賞	最高殊勲選手賞、最優秀投手賞、打撃賞、 敢闘賞(トロフィー)監督賞(盾)
ゲートボール競技	優勝チーム 準優勝チーム 第3位チーム	賞状、持ち回り優勝杯、選手全員に金メダル 賞状、持ち回り準優勝杯、選手全員に銀メダル 賞状、選手全員に銅メダル
ボウリング競技	優勝 準優勝 第3位	賞状、金メダル 賞状、銀メダル 賞状、銅メダル
ソフトバレーボール競技	優勝チーム 準優勝チーム 第3位チーム	賞状、持ち回り優勝杯選手全員に金メダル 賞状、持ち回り準優勝杯選手全員に銀メダル 賞状、選手全員に銅メダル

オープン競技	優勝	メダル
グラウンド・ゴルフ競技	準優勝	メダル
	第3位	メダル

(6) 参加申込方法

主管団体より各協会事務局に送付する参加選手名簿申込書を、令和7年9月14日（日）までに福岡県聴覚障害者協会宛（参加チームより直接）に提出すること。

* 参加料は参加申込時に添えるか、又は振り込むこと。

(7) 参 加 料

・ 団体参加料	・ ソフトボール	2, 0 0 0 円
	・ ゲートボール	1, 0 0 0 円
	・ ソフトバレーボール	1, 0 0 0 円
・ 選手参加料	・ ソフトボール	1, 5 0 0 円
	・ ゲートボール	1, 5 0 0 円
	・ ソフトバレーボール	1, 5 0 0 円
	・ グラウンド・ゴルフ	1, 5 0 0 円
	・ ボウリング	6, 0 0 0 円
・ 昼食代	・ お弁当（お茶付）	8 0 0 円

9. 各競技実施要項

* 第44回 ソフトボール競技

1. 競技種目

男子ソフトボールとする。

2. 競技規定

（公財）日本ソフトボール協会オフィシャルルール及び本大会申し合わせ事項に順じて行う。

3. チームの編成

- （1）1チームの編成は、監督を含む選手20名以内とする。
- （2）コーチまたはマネージャー、スコアラーが選手として出場することはできるが、選手として出場する場合は、20名の範囲内で登録しなければならない。
- （3）監督の背番後は30番、主将の背番号は10番とする。

4. 試合球検定ゴム3号球のナガセケンコー株式会社制ボールを、主管団体で提供する。

5. 競技方法

- （1）対戦方法は監督・主将会議で決めることとする。

- (2) リーグ戦形式で、各チームが総当たりで対戦し、勝ち点方式で順位を決定する。
勝ち点は勝利で3点、引き分けで1点、敗北で0点を付与する。
- (3) 順位が同率の場合は、得失点差にて決定する。
(2試合の総得点-総失点=計算した数値の大きい方が上位となる)。
尚、それでも同率の場合は、直接対決の勝者が上位となる。
- (4) 試合は、7イニング制と時間制を併用し、どちらか先に達した時点で試合終了とする。7回を終了して同点の場合は8回よりタイブレークを適用する。
 - (ア) 65分を超えて新しいイニングに入らないものとする。
 - (イ) 7イニングまで達した場合は、規定時間に達していなくても終了とする。
 - (ウ) 5回以降7点差の場合はコールドゲームとする。また、7回終了時同点の場合は、タイブレークを適用する。
 - (エ) タイブレークは継続打順とし、前回の最終打者を2塁走者とし、無死2塁の状態から1イニングを行い、得点の多いチームの勝ちとする。
 - (オ) 1イニングのタイブレーク終了後同点の場合には、両チーム9名でのジャンケンにて勝敗を決める。なお、並ぶ順番は、最終守備位置の投手を先頭とし守備位置順に並ぶ。

6. 表彰

- (1) 決勝戦終了後、閉会式において行う。
優勝・準優勝チームに優勝・準優勝杯を授与し、個人賞は、チーム数が3チーム以上の時に準備し、最高殊勲選手賞、最優秀投手賞、敢闘賞、打撃賞、監督賞を表彰する。
- (2) 各個人賞については、担当審判員との協議の上決定する。

7. 組み合わせ

監督・主将等合同会議において、大会の組み合わせ抽選を行う。

8. 競技用具

- (1) バット、ヘルメット(JSA)の点検をし、規定以外のもの及び危険と思われる用具は、試合終了まで、競技場本部席で保管する。試合終了後、受け取りにくること。
- (2) 1チームの選手のユニフォームは同色、同衣装で統一された品位あるものであること。また、帽子は同一のものとする。
- (3) 背番号・胸番号は、監督30番・コーチ31番・主将10番・選手は、1番から99番までとする。
- (4) 攻撃中の打者、走者はヘルメット(両耳付)を着用しなければならない。
- (5) 守備中の捕手は、スロートガード付きマスク、ヘルメット、レガース、ボディープロテクターを着用しなければならない。
- (6) 準備投球をするときも、捕球する者は必ず、スロートガード付マスクを着用しなければならない。
- (7) 金属製スパイク使用は認めない。また、危険行為をした場合は退場とする。

9. 注意事項

(1) 競技開始まで

- ① 試合開始予定時刻の30分前、または前の試合4回終了までに、試合会場に集合すること。遅れた場合は原則として棄権とみなす。
- ② 打順表は、試合開始予定時間の15分前までに、打順表(4枚1組複写)に必要な事項を記入し、必ずフリガナをつけて球場本部に提出すること。相手のチーム打順表は審判・記録員の照合・確認のうえ審判員より受け取る。
- ③ 攻守順の決定は、打順表提出時、審判員立会いのもと「コイン」のトスによって決定する。コイントスの順番は打順表持参先着チームに優先権を与える。
- ④ 競技者席は組み合わせ番号の若い方を一塁側とする。ベンチに入る人数は要項で定められた者以内とする。
- ⑤ フィールドイング
 - (ア) 競技場に入ることを許されたメンバーで行うこと。
 - (イ) 後攻チームより5分間とし、審判員の指示に従うこと。
 - (ウ) 大会進行上、時間の短縮及び省略することもある。

(2) 競技開始

「集合準備」の指示で自己のベンチ前に一列横隊に立つ。

(3) 攻守交替、選手交替

- ① すべて駆け足で敏速に交替を行う。
- ② 選手の交替は、監督が球審にすみやかにその旨、通告すること。
- ③ 選手交代を行う際には、各ベンチに用意したホワイトボードへ記入し、主審、本部、相手チームへ報告すること。

(4) 攻守交替のボール

別に指示がない場合ピッチャープレートの近くに置く。試合終了後は審判員に渡すこと。

10. 競技場

ダブルベースを使用する。

11. その他

- (1) 当日が雨天の場合、会場のグラウンド状況を確認し、開催の有無を判断する。そのため、必ず現地へ集合すること。
ただし、審判が試合中止を判断した場合は、監督および主将のジャンケンにより勝敗を決定する。
- (2) 第1試合開始前に始球式を行う。
- (3) 審判員の判定に対して抗議することは許されない。ルール上の疑義については、監督に限りこれを正すことができる。
- (4) 雷が発生した場合など、選手・観客の安全を最優先とし、試合を一時停止する。この際、70分間の制限時間も停止し、雷が収まり安全が確認された後に試合を再開する。再開後は残りの時間で試合を進める。

***第44回 ゲートボール競技**

1. 競技種目

ゲートボール競技をする。

2. 競技規定

(公財)日本ゲートボール連合「公式ゲートボール競技規則」並びに大会申し合わせ事項に順じて行う。

3. チーム編成

(1) 1チームの編成は7名(監督を含む)以内とする。ただし、監督は選手として競技に参加できない。

(2) 選手のうち1名を主将とする。男女年齢を問わず参加できる。

4. 競技方法

(1) 予選リーグ戦・決勝トーナメント戦とする。

(2) 予選リーグの第1次リーグ戦では、原則として2戦方式を行い、総合の順位を出す。

(3) 決勝トーナメント戦は第1次リーグ戦による順位に従い、組み合わせ抽選を行う。3位決定戦も行う。

(4) 7名以内の選手のうち5名が競技に参加し、1試合中に3名まで1回に限り交替することができる。

(5) 競技時間は30分とし、競技開始並びに競技終了は同一通告とする。

5. 組み合わせ

リーグ戦の組み合わせは、監督・主将会議において抽選によって行う。

各コート2戦してトーナメントを実施し、3位決定戦を行う。

6. 順位決定戦

(1) 勝ち数

(2) 得失点差

(3) 対戦結果(失点の少ない方)

(4) プレイオフ(公式ゲートボール競技規則第7条第2項を適用して決定する。)

7. 表彰

(1) 表彰は、競技終了後閉会式にて行う。

(2) 優勝・準優勝・3位に賞状とメダルを授与する。

但し、チーム数が2チームの場合はメダルの授与は行わない。

8. 注意事項

(1) コート設営

① コートはインサイドライン縦15m×横20mとする。

② インサイドラインの区画は白線をもって表示する。

(2) 競技進行

①先攻・後攻はジャンケン(トス)で決める

②競技の没収は、相手チームに5点を与え得点は5対0とする。

③天候等により中止となった時は、20分以上経過していた場合はその時点の成績によって決定する。

(3) 用具など

①スティック(認定されたもの)は参加者が持参するものとする。

②監督・主将の表示マークは各チームが持参する。

③大会使用球は審判側が用意する。

④打順の番号表示は、各チームで用紙し胸部・背部もある物を着用する。

⑤主将の指示はスティックを使わず手で指示すること。

⑥競技者は試合の10分前に、全員コートのそばに集合すること。

⑦オーダー表は試合の都度、コートの審判に渡すこと。

⑧オーダー表交換は、試合開始予定時間の10分前とする。

9. 競技時間

<第1次リーグ戦>

開会式 9:00

第1試合 9:30~10:00

第2試合 10:10~10:40

第3試合 10:50~11:20

第4試合 11:30~12:00

休憩

<決勝トーナメント戦>

第1試合 12:45~13:15

第2試合 13:25~13:55

閉会式

***第44回 ボウリング競技**

1. 競技種目

ボウリング競技混合個人戦を行う。

2. 競技規定

(1) 競技は、大会開催年度の(公財)全日本ボウリング協会競技規則(JBCルール)を採用する。

(2) 競技は、予選及び決勝戦を行い、予選および決勝戦ともデュアルレーン方式(アメリカン方式)で行なう。

(3) 競技中トラブルが生じた時は、審判の指示に従うこと。

(4) ゲームスタートの合図時に遅刻した場合は、失格とする。

3. 競技方法

- (1) 予選は、6ゲームを行い、上位4名が決勝戦に進出できる。
- (2) 決勝戦は3ゲーム行い、予選6ゲームとの合算により順位を決める。
- (3) 女子のみ全員一律15点のハンディキャップ制(HDCP)を採用する。

5. 表彰

- (1) 表彰は、競技終了後閉会式にて行う。
- (2) 優勝・準優勝・3位に賞状とメダルを授与する。

6. 競技場の注意事項

- (1) 競技用ボールは、できるだけ各自のものを使用すること。
- (2) 競技出場選手は必ず、氏名入りのユニフォームを着用すること。
- (3) 競技開始30分までに受付を完了すること。
- (4) 競技中の選手は、応援者等との会話を禁ずる。
- (5) 競技中は、出場選手と役員以外は、ボウラズベンチ内への立ち入りを禁ずる。
- (6) 投球メンバー及び順番は、各種目とも登録をもって変更できない。変更した場合は、失格となる。
- (7) 円滑な競技運営のため、競技委員の指示に従い、素早く行動するように努める。

*第12回 ソフトバレーボール競技

1. 競技種目

ソフトバレーボール競技をする。

2. 競技規定

競技は、大会開催年度の「日本ソフトバレーボール連盟規則」並びに大会申し合わせ事項に順じて行う。

3. チームの編成

- (1) 1チーム4名以上8名以内とする。
- (2) 監督・コーチは又はマネージャーが選手を兼ねる場合は、選手名簿にも登録されていなければ選手として出場できない。

4. 競技方法

- (1) コート内の競技者4名で男子2名以内とする。なお、コート内に女子だけでも可。但し、60歳以上の男子は可。

- (2) コート：バドミントンコートを使用する。(6.1m×13.4m)
- (3) 試合は3セットマッチとし、2セット先取したチームを勝者とする。
- (4) ラリーポイント制(1セット15点制、ただし、14対14の場合、2点差がつくまで続行するが、17点先取したチームを勝者とする。)
*基本的には6人制のルールに準ずるが、以下のプレーは反則となる。
ブロックでのオーバーネット、サービスのネット・イン
- (5) 対戦方法は監督・主将会議で決めることとする。

5. 試合球

(公財)日本バレーボール協会制定の(株)ミカサ製ボールを使用する。

6. 組み合わせ

組み合わせは、監督・主将会議において、抽選により決定する。

7. 表彰式

- (1) 表彰は、競技終了後閉会式にて行う。
- (2) 優勝・準優勝・3位に賞状とメダルを授与する。
但し、チーム数が2チームの場合はメダルの授与は行わない。

8. 競技場の注意事項

- (1) 競技者のユニフォームはチームにより統一された色と同じ形のものを着用しなければならない。場合によっては、ビブスの着用も可とする。
- (2) 競技者のユニフォームには、胸部と背中中央に番号を1から99の番号をつけなければならない。
- (3) キャプテンはユニフォームと異なった色で、胸部の番号の下に、長さ8cm、幅2cmのマークをつける。

*オープン競技 グラウンド・ゴルフ競技

1. 競技種目

グラウンド・ゴルフ競技をオープン競技として行う。

2. 競技規定

- ①競技は、公開競技開催年度の「日本グラウンド・ゴルフ協会競技規定」を採用する。
- ②競技中、トラブルが生じたときは、主催者の指示に従うこと。

3. チームの編成

- (1) 1チーム6人とする。
- (2) チーム分け、打順の決定は実行委員会がする。

(3) チームは、所定のボールを決められた打順に従ってスタートマットから打ち始め、ホールポスト内に静止した状態「トマリ」までの打数を数えるものである。

4. 用具について

クラブ・ボール・ホールポスト・スタートマットは定められたものとし、実行委員会が用意する。

5. 審判について

審判はプレーヤー自身が行う。

判定が困難な場合には、同伴のプレーヤーに同意を求める。

6. コース

標準コースとし、50m、30m、25m、15m 各2ホールの合計8ホールで構成する。

7. 表彰式

優勝・準優勝・3位にメダルを授与する。

8. 競技場の注意事項

(1) コースへ出る選手は、指輪、ネックレス、ヘアピン等、危険と思われるものは身につけない。

(2) 暴力行為及び主催者や実行委員に対する暴言等、マナー、モラルを遵守できない場合、大会本部で協議の上、処理する。

(3) 選手は健康保険証を携帯すること。

9. その他

競技結果をみて、今後の検討資料とする。

【細則】

1) 競技規則については、大会申し合わせ事項に順じて行うこと。

2) 監督・主将会議は、大会の2週間前に開催する。出席資格は各チームの監督・主将またはその代理人とし、それぞれ2名以内とする。理事の出席も確認する。

開会式については、開催地で大会当日に行う。

3) 協力依頼及び後援依頼文書、監督・主将会議の案内、優勝旗・カップなどの返還に関する文書などの発送については、主管協会で行う。

4) 雨天のため延期となった場合、会場費、審判謝礼など、延期になった際にかかる諸費用は、選手より参加費を徴収し、運営する。

5) 審判謝礼の残金は、延期時の審判謝礼の一部にあてる。

- 6) 延期の際の会計担当は、県体育部長が行う。
- 7) 会計決算については、監事を各チームより1名代表を出してもらい、監査を受けた上で、残金についてはチームで分け、翌年へ繰り越ししない。
- 8) 参加者は各自の責任において健康管理には充分注意し、良識ある行動をする。特に飲酒しての参加は禁ず。
- 9) 各会場の使用規則を遵守し、喫煙については決められた場所でマナーを守って行う。
- 10) 競技の組み合わせは、参加申込締切後、監督・主将会議のもとで行なう。
- 11) 大会参加申込締切日以降の出場選手の変更について、事故等による選手、監督、コーチ等の変更は、別紙様式Ⅰを10月5日(日)監督主将会議に提出すること。期限を過ぎての提出、また選手の追加は認めない。
- 12) 変更登録した選手、監督、コーチも参加料を支払わなければならない。また一旦納入した参加料は、大会参加申込締切日以降、理由の如何にかかわらず返金しないものとする。
- 13) 競技中の事故に対しては、救護班をおいて応急処置をする。

10. 大会事務局

主管団体 第62回福岡県ろうあ者体育大会実行委員会事務局
〒816-0804 福岡県春日市原町3-1-7 クローバープラザ内3階
福岡聴覚障害者団体連合会
FAX: 092-588-0250
TEL: 092-588-0250
E-mail: fuchoren@aurora.ocn.ne.jp

競技申込先

〒816-0804 春日市原町3-1-7 クローバープラザ3階
社会福祉法人福岡県聴覚障害者協会
事務局体育部担当
FAX 092-582-2419
TEL 092-582-2414

参加料振込先

福岡銀行 春日原支店 普通 1380841
しゃかいふくしほうじん ふくおかけんちょうかくしょうがいしゃきょうかい
社会福祉法人 福岡県聴覚障害者協会
りじちょう おおさわ いつえ
理事長 大澤 五恵